
駄・？

ヒコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

駄・？

【Nコード】

N4923T

【作者名】

コト

【あらすじ】

あらすじは用意しておりません。

ツイッター上にて細々と呟いたものの転載です。

もう届かないのだろう。俺の声も、伸ばしたこの手も、彼女の元へは何一つ。

独り孤独と闘う彼女の強さと脆さを知りながら、俺は何もしなかった。

俺では彼女を助けられないと、自分の勇気の無さを他に押し付けて逃げていた。

独り気高く生きる彼女のその凜々しい瞳が、時に儂く揺れる事も、優しさ故に他を遠ざけているという事も、知っていたというのに。

彼女にとつての唯一人になるのが怖くて、俺では吊り合わない気がして、ただ逃げていた。

彼女を助けたいと願ったこの心に、嘘は無かったのに。

助けるまでいかななくても、支えになる事ぐらいなら出来るかも知れない、と気付いて彼女の元へ足を運んだ。

もう・・・遅かった。

彼女の姿はもうそこには無く、既に別の地へ行ってしまったのだと空気が告げていた。

必死に視線を巡らせ彼女がまだここにいる証を探したが、探せば探す程、彼女が行ってしまった事を思い知らされた。

不意に背後に気配を感じ、振り返るが、そこには誰もいなかった。月がただ涼やかな光を届けているだけ。

いつもはその穏やかな光に心を和ませるのに、今は胸を締め付けられるような寂しさに襲われる。“独り”だという事が、強く感じられて。

俺では、彼女のいる地に辿り着けない。いくら腕を伸ばそうと、決

して届かないあの月のように。

俺はこの地に縛られて、彼女は彼方遠くへと行ってしまった。

どれだけ声を張り上げ呼ぼうとも、どれだけ彼女の事を想おうと、それが彼女に届く事は無い。

月と星とが静かな光を届けるこの世界で、俺は自分の愚かさと世界の残酷さを呪い、慟哭した。

その声に答える者は無く、世界は冷たく優しい光に満たされていた。

(後書き)

この度は読んでいただき、ありがとうございます。

意味が解らなくてもいいのです。私はただ自分の中に生まれた世界を発信したに過ぎません。

理解しようとしなくてもいいのです。ただ何かを感じてもらえればそれで満足です。

30分程で思うままに書いていただけですから、完成度もそんなに高くないでしょうし。

こういうのを書くのは好きなので、ちよくちよく更新していきたいと思います。

題名が無いのもその所為。特に何かを意識して書いていたわけではないので。

読者の皆様が「こんな題名がいい」と思ったら、それがこの世界の名前です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4923t/>

駄・？

2011年10月9日03時51分発行